

2026年3月期 第2四半期（中間期）決算概要 補足説明資料

2025年11月7日



NIHON SEIKO CO.,LTD.

日本精鋁株式会社

証券コード：5729（東証スタンダード市場）

2025年度中間期 連結決算概要

連結売上高、連結の各利益は増収増益となり、中間期としては過去最高を更新

- * 連結売上高：前年同期比91.9%増収の20,839百万円
中国当局による輸出管理が強化され、アンチモン地金価格が高値で推移するとともに、汎用の三酸化アンチモンも管理対象となったことから、アンチモン製品価格が上昇し、アンチモン事業の売上高が過去最高を記録
金属粉末事業は受注減少により、売上高はやや減少
- * 連結各利益：営業利益は前年同期比419.7%増益の4,802百万円、純利益は同445.9%増益の3,301百万円

(単位：百万円)

連結業績	2024年度中間期	2025年度中間期	増減率	2025年度業績予想	進捗率
売上高	10,859	20,839	91.9%	40,200	51.8%
営業利益	924	4,802	419.7%	5,300	90.6%
経常利益	882	4,755	438.9%	5,200	91.5%
中間純利益	604	3,301	445.9%	3,550	93.0%

セグメント別決算概要

アンチモン事業

	2024年度中間期	2025年度中間期	増減率
売上高（百万円）	5,819	15,936	173.8%
セグメント利益（百万円）	543	4,644	754.3%
販売数量（トン）	2,448	2,035	▲16.9%

- * 売上高は前年同期比173.8%増収
製造業全般は軟調に推移し、中国などからのOEM品の調達が困難なことから販売数量が減少
アンチモン地金平均価格が前年同期比約173%上昇、製品の販売価格が大幅に上昇
- * セグメント利益は前年同期比754.3%増益
増収、生産効率の改善、在庫評価の影響などが作用

金属粉末事業

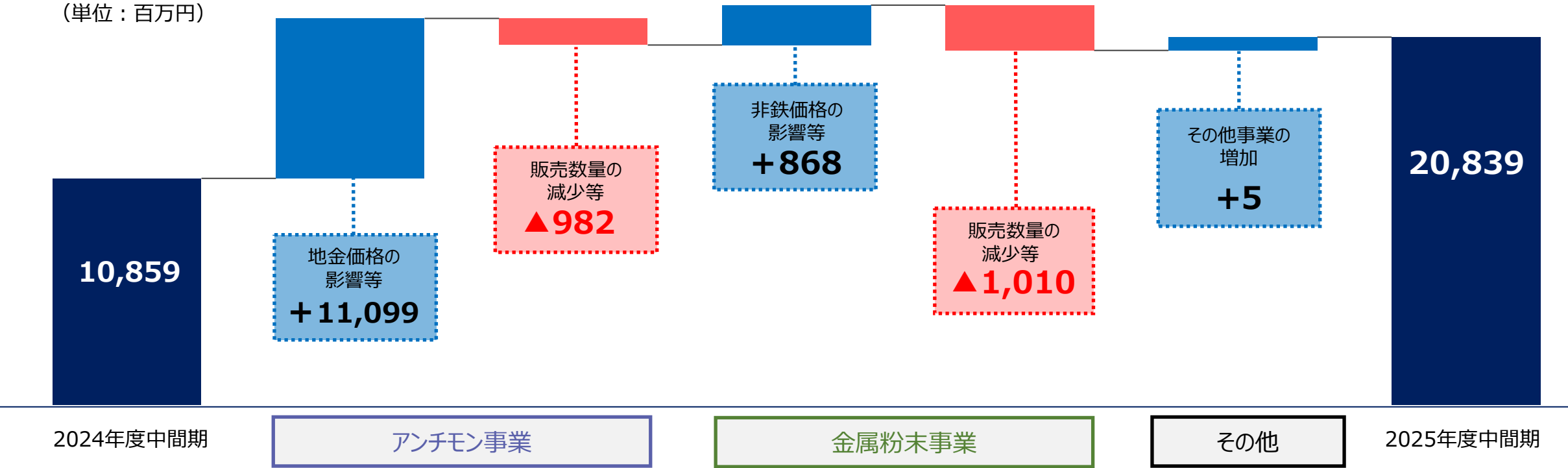
	2024年度中間期	2025年度中間期	増減率
売上高（百万円）	5,025	4,883	▲2.8%
セグメント利益（百万円）	362	138	▲61.7%
販売数量（トン）	1,318	1,053	▲20.1%

- * 売上高は前年同期比2.8%減収
販売数量が減少
電子部品向けについては、ローエンドのスマホや自動車関連市場向けでは競合が激しく、粉末冶金向けでも、自動車部品向けが低調
- * セグメント利益は前年同期比61.7%減益
受注減少による操業度の低下などが影響

売上高の増減要因

- * アンチモン事業：アンチモン地金価格が前年同期比大幅に上昇したことから前年同期比増収
- * 金属粉末事業：販売数量が減少したことから前年同期比減収

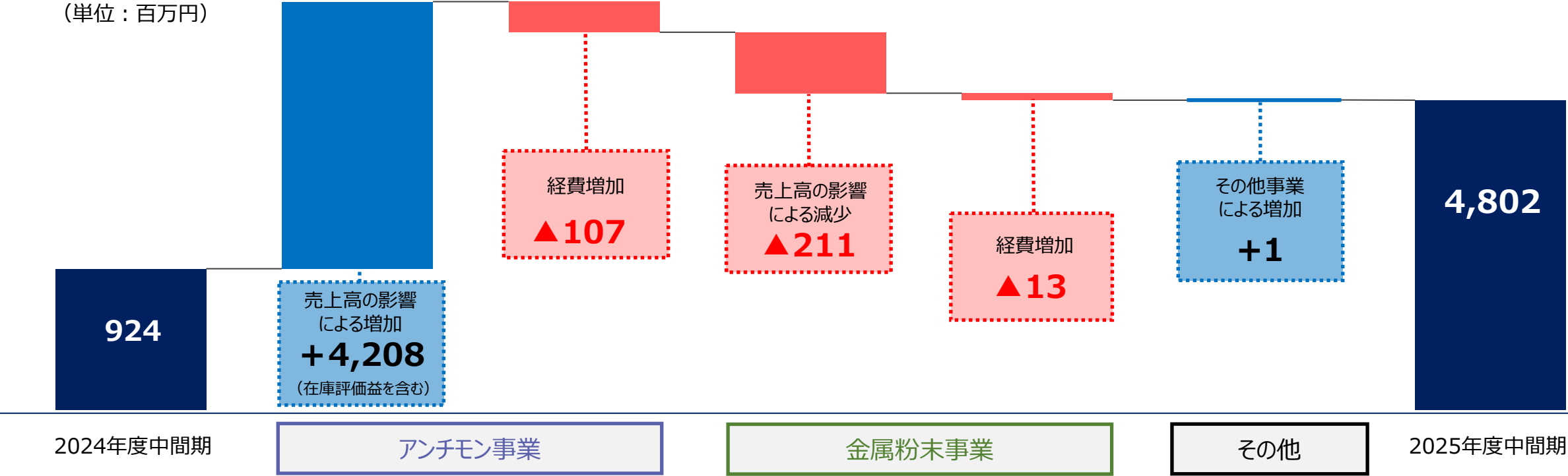
(単位：百万円)



営業利益の増減要因

- * アンチモン事業：売上高増加、在庫評価益の影響により前年同期比増益
- * 金属粉末事業：売上高減少、経費増加などの影響により前年同期比減益

(単位：百万円)



四半期別 セグメント別 実績と予想

アンチモン事業 実績と予想

	2024年度 第1四半期 実績	2024年度 第2四半期 実績	2024年度 第3四半期 実績	2024年度 第4四半期 実績	2024年度 合計 実績	2025年度 第1四半期 実績	2025年度 第2四半期 実績	2025年度 第3四半期 予想	2025年度 第4四半期 予想	2025年度 合計 予想
売上高（百万円）	2,459	3,360	4,119	5,867	15,807	8,416	7,520	13,564		29,500
セグメント利益（百万円）	168	375	733	1,782	3,059	2,779	1,865	156		4,800
販売数量（トン）	1,163	1,285	1,061	1,032	4,541	1,090	945			

金属粉末事業 実績と予想

	2024年度 第1四半期 実績	2024年度 第2四半期 実績	2024年度 第3四半期 実績	2024年度 第4四半期 実績	2024年度 合計 実績	2025年度 第1四半期 実績	2025年度 第2四半期 実績	2025年度 第3四半期 予想	2025年度 第4四半期 予想	2025年度 合計 予想
売上高（百万円）	2,397	2,627	2,343	1,967	9,336	2,363	2,520	5,067		9,950
セグメント利益（百万円）	204	158	89	50	502	86	52	292		430
販売数量（トン）	673	645	542	473	2,333	513	540			

前提条件



NIHON SEIKO CO.,LTD.

日本精鉱株式会社

- * アンチモン地金価格は第1四半期末をピークとして、第2四半期は軟化した。第2四半期の平均価格は、第1四半期に比ベドル建てで4%の下落。下半期は下落基調が継続することを前提としている。
- * 銅の国内建値の第2四半期の平均価格は、第1四半期に比べ5%増加。下半期は若干下落することを前提としている。

	中期経営戦略公表時点 (3/26)	2025年度第1四半期 実績	2025年度第2四半期 実績	2025年度第3四半期～第4四半期 前提条件※
アンチモン地金 (US \$ / トン) ※	39,500	59,160	56,740	39,000
銅 (円 / kg) ※	1,459	1,424	1,499	1,480
為替 (円 / ドル)	148	146	149	145

※アンチモン地金は国際相場、銅は国内建値に基づく

※2025年度第3四半期～第4四半期の前提条件は平均値



連結貸借対照表

主な増減要因

流動資産

- ・ 現預金：+1,371百万円
- ・ 商品及び製品：+1,291百万円
- ・ 売上債権：+380百万円
- ・ 原材料及び貯蔵品：277百万円

固定資産

- ・ 有形固定資産：+234百万円

負債

- ・ 短期借入金：▲698百万円
- ・ 未払法人税等：+410百万円
- ・ 支払手形及び買掛金：+298百万円
- ・ 長期借入金：▲99百万円

純資産

- ・ 利益剰余金：+2,959百万円

(単位：百万円)

	2025年9月末	増減 (2025年3月末比)		2025年9月末	増減 (2025年3月末比)
現預金	3,500	1,371	仕入債務	3,018	296
売上債権	5,490	380	有利子負債	2,894	▲ 797
棚卸資産	8,968	1,639	その他流動負債	2,772	916
その他	147	▲ 258	その他固定負債	714	▲ 21
流動資産合計	18,105	3,132	負債合計	9,398	395
有形固定資産	5,515	234	資本金・資本剰余金	1,615	17
無形固定資産	126	▲ 10	利益剰余金	13,371	2,959
投資その他	591	43	自己株式	▲ 147	2
			包括利益累計額	98	26
固定資産計	6,232	267	総資産合計	14,937	3,004
資産合計	24,337	3,399	負債・資本合計	24,337	3,399

連結キャッシュ・フロー

主な増減要因

営業キャッシュ・フロー

- ・ 税金等調整前中間純利益：+4,753百万円
- ・ 減価償却費：+308百万円
- ・ 仕入債務の増加額：+306百万円
- ・ 法人税等の支払額：▲1,067百万円
- ・ 棚卸資産の増加額：▲1,643百万円
- ・ 売上債権の増加額：▲383百万円

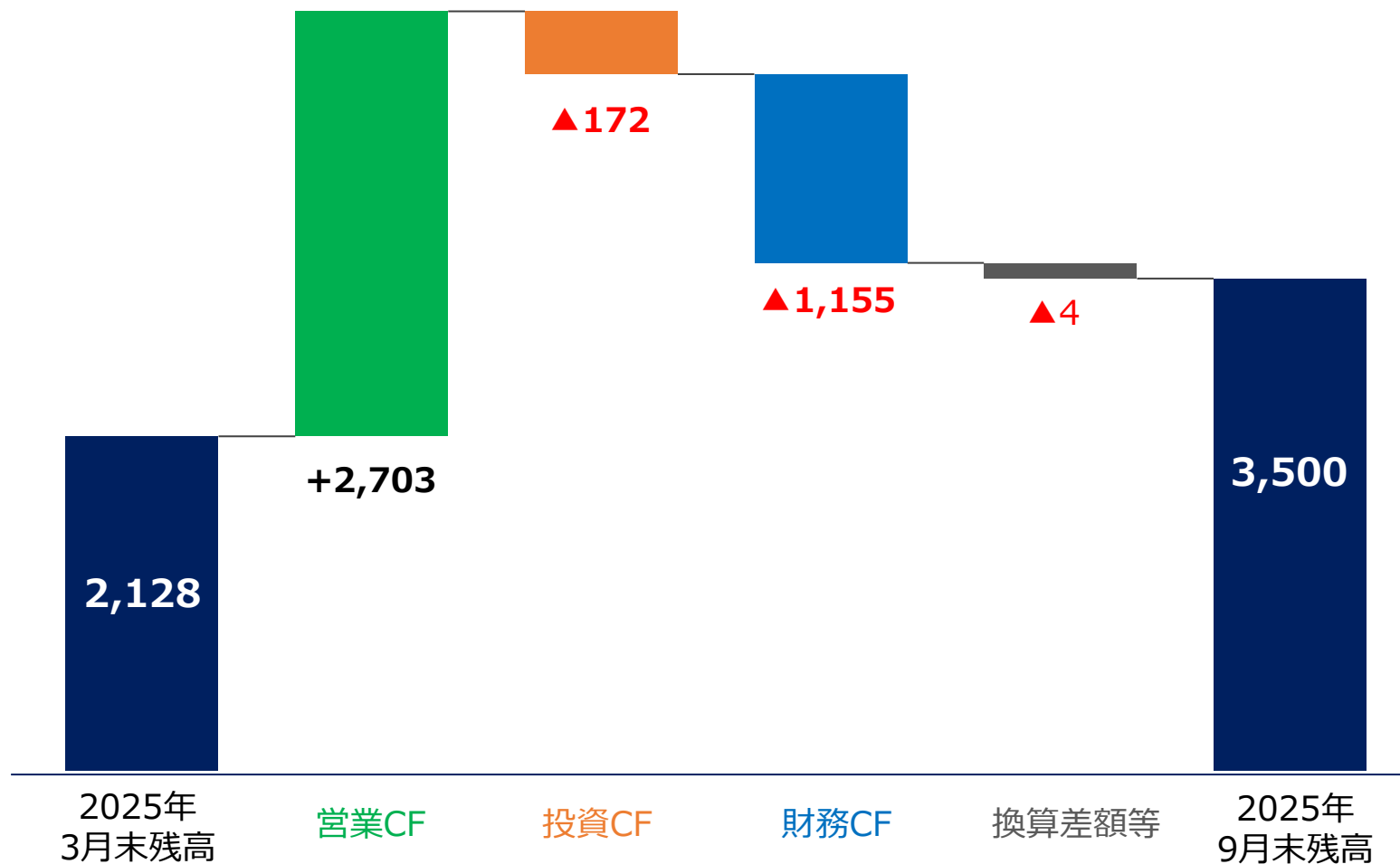
投資キャッシュ・フロー

- ・ 有形固定資産の取得による支出：▲173百万円

財務キャッシュ・フロー

- ・ 長期借入金による収入：+100百万円
- ・ 短期借入金の減少額：▲700百万円
- ・ 配当金の支払額：▲342百万円
- ・ 長期借入金の返済による支出：▲197百万円

(単位：百万円)



2026年3月期 連結業績予想

(単位：百万円)

連結業績	2026年3月期 通期 予想(変更なし)	2025年3月期 通期 実績	増減額	増減率
売上高	40,200	25,179	15,021	59.7%
営業利益	5,300	3,598	1,702	47.3%
経常利益	5,200	3,531	1,669	47.3%
当期純利益	3,550	2,456	1,094	44.5%

前提条件	中期経営戦略公表時点 (3/26)	2025年度第1四半期 実績	2025年度第2四半期 実績	2025年度第3四半期～第4四半期 前提条件※
アンチモン地金 (US\$ / トン) ※	39,500	59,160	56,740	39,000
銅 (円 / kg) ※	1,459	1,424	1,499	1,480
為替 (円 / ドル)	148	146	149	145

※アンチモン地金は国際相場、銅は国内建値に基づく
※2025年度第3四半期～第4四半期の前提条件は平均値

2025年度中間期 各セグメントのトピックス

アンチモン事業

中瀬製錬所は、カーボンニュートラル貢献のため、三酸化アンチモン製造工程の改良を計画しています。燃烧炉を電熱炉へ転換し、CO2排出量と消費電力を大幅に削減する内容で、2027年度に完了予定です。この計画に対し、国の「省エネルギー投資促進補助金」の交付が決定しました。補助金を活用しながら、サステナブルな事業展開を一層強化し、社会貢献を目指します。



金属粉末事業

日本アトマイズ加工株式会社つくば工場に、新たな事務所棟を建設します。竣工は2026年9月の予定で、省エネ性能の高い「ZEB Ready」認証の取得を目指します。また、新事務所は、従業員の働きやすさや多様性にも配慮した設計が特徴です。これにより、持続的な成長と企業価値の向上を図ります。



将来予測について

本資料のうち業績見通し等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と異なる結果となり得ることをご承知おきください。



NIHON SEIKO CO.,LTD.

日本精鋳株式会社